

○平成30年度第2次補正予算等に係る農村振興局所管事業の執行における入札・契約手続等の円滑な実施について

平成31年2月8日 30農振第2977号
農村振興局長から各地方農政局、内閣府沖縄総合事務局長あて

平成30年度第2次補正予算等の執行に係る入札・契約手続等の円滑な実施については、平成31年2月8日付け30予第1858号により大臣官房参事官（経理）から通知されたところであるが、公共工事の品質確保やその担い手の中長期的な確保・育成とともに、地域企業の活用にも配慮しつつ、その取扱いについては、迅速かつ着実な執行のため、下記に定めるところによることとする。

なお、貴職から、国営事業(務)所に対して周知徹底するとともに、貴管下都府県に対しては、貴職から参考までに送付されたい。また、都府県への送付に当たっては、関係市町村等に対する送付の依頼をされたい。

記

1 入札・契約手続の効率化等

入札・契約手続きの実施に当たっては、平成30年度農村振興局所管公共事業等の施行について（平成30年3月29日付け29農振第2118号農林水産省農村振興局長通知）に記載する次の（1）から（4）までの事項に留意し、手続の効率化等に努めること。

- （1）総合評価落札方式における提出資料の簡素化等
- （2）入札手続期間の短縮
- （3）一括審査方式の活用
- （4）概算数量発注方式等の活用

なお、発注事務を進める段階において入札不調が想定される工事については、指名競争入札方式による実施も検討すること。

2 適切な工事等の発注

工事等の実施に当たっては、次の（1）から（4）までの事項に留意し、建設現場における生産性の向上と建設業における働き方改革の推進に努めること。

（1）現場条件の明示の徹底及び適切な設計変更

設計図書への現場条件の明示を徹底するとともに、契約後における現地の状態等に応じた受発注間での確認及び協議に基づき、適切に契約変更を行うこと。

（2）適切な工期の設定等

ア 工事については、早期発注に努めるとともに、休日等の不稼働日や準備期間等を考慮した適切な工期を設定し、工事着手前に技術者や資機材の確保等の準備を行うための余裕期間や準備期間を見込むなど、適切な工期とすること。また、業務につ

いても、業務成果の活用時期・優先性などを勘案した業務内容に基づき適切な工期を設定すること。

イ 現場条件等に応じてプレキャスト製品の活用を検討する等、適切な工期及び品質を確保する観点から合理的な工法を検討すること。

ウ 土工事及びほ場整備工事等において、現場条件に応じてICTを活用した情報化施工を積極的に推進すること。

エ 円滑な施工の確保を図るため、受注者と工事工程を共有し、適切な工期の確保に努めること。

オ 工事・業務を実施するに当たり、やむを得ない事由により当該年度内に完了しない場合には、財務局等に相談・協議の上、円滑に繰越手続の対応をとること。

(3) 発注見通しの速やかな公表の徹底

平成30年度第2次補正予算による工事及び建設コンサルタント業務等に係る発注の見通しについて、円滑な事業執行の観点も踏まえ、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律等に基づく入札及び契約に関する情報等の公表について（平成13年4月27日付け13経第172号農林水産省大臣官房経理課長通知）に基づき、補正予算成立後速やかに公表することを徹底すること。

(4) 発注者間の連携体制の強化等

発注者間の協力体制については、建設業者における計画的な技術者の配置や円滑な資機材の調達を図るため、発注見通しを統合して公表するなど、発注者間の一層の連携に努め、発注者共通の課題への対応や各種施策の推進を図ること。

(5) 適切な規模での発注

地域企業の活用に配慮しつつ、工事の発注量や労務の受給に係る状況等から技術者や技能労働者の不足が懸念される地域では、複数の工区をまとめた発注ロットの大型化による技術者・技能労働者の効率的活用を図るなど、適切な規模での発注に努めること。なお、中小建設業者等の受注機会の確保を図るため、政府調達協定の対象工事を除く大規模な工事について、工事難易度が低いものについては、上位等級工事への参入の拡大を図るなど積極的に推進すること。